

令和6年度 全国学力学習状況調査＜生活状況等分析＞

朝来中学校

【生活】

(ア) 朝来中学校における調査結果の概要

朝食をとる、決まった時間に就寝・起床する生徒の割合が全国及び県平均より低い、多くの生徒が基本的な生活習慣を確立し生活することができている。また、放課後や休日に、地域の人々や家族と触れ合っている生徒の割合が高く、多くの生徒が人と接する時間を大切にしている。また、困っている人を見ると助けの手を差し伸べる優しい面や、人と話し合い、ともによりよい環境をつくっていかうとする面も持っている。

ただ、家庭生活では、学習以外での ICT、ゲーム、SNS に従事する時間が非常に長いため、学習に取り組む時間に課題が見られる。その背景として、自分の課題を自分で解決することに苦手意識を持っている生徒が全国及び県平均より多く見られることが挙げられる。

学校生活では、互いに支え合い、話し合いを通して個々を成長させていこうとする姿勢が見られ、集団性が育まれている様子が確認できるが、友達関係に満足できていない生徒も多くいる。

(イ) 朝来中学校における生徒の平均像

○・・・数値が上回っている場合

●・・・数値が下回っている場合

□・・・課題

*数値：全国及び県平均

<基本的生活習慣>

- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たり4時間以上、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たり4時間以上、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをする（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、ルールがない生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- 家に10冊未満本を持っている（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- 半数以上の生徒が朝食を食べているが、その割合は、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 半数以上の生徒が同じくらいの時間に寝ているが、その割合は、全国及び県平均より大きく下回っている。

- ほとんどの生徒が同じくらいの時間に起きているが、その割合は、全国及び県平均より下回っている。
- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以下、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 新聞を読んでいる生徒の割合が、全国及び県平均より下回っている。
- 朝食をとる習慣については、家庭での指導が大きな割合を示すため、機会あるたびに基本的な生活習慣に関する啓発を行っていく必要がある。
- 保護者と本人の同意による携帯電話、スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲームなどの機器の使用等に関するきまりを作るよう啓発する必要がある。

<学習習慣>

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、30 分未満勉強のために使っている（遊びなどの目的に使う時間は除く）生徒の割合が、全国及び県平均より上回っている。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり 0 分～30 分未満勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり 0 分～1 時間未満勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- 1、2年生のときの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる生徒の割合が、県平均より上回っている。
- 1、2年生のときの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる生徒の割合が、県平均より上回っている。
- 1、2年生のときの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができる生徒の割合が、県平均より上回っている。
- 1、2年生のときの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる生徒の割合が、県平均より上回っている。
- 1、2年生のときの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる生徒の割合が、県平均より上回っている。
- 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組ん

でいる生徒の割合が、県平均より上回っている。

- 学校以外の場所で勉強のために ICT 機器を 30 分以上活用している生徒が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている生徒の割合が、全校平均より下回っている。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たり 2 時間以上勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1 日当たり 2 時間以上勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 1、2 年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、週 3 日以上使用した生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 1、2 年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合が、全国平均及び県平均より下回っている。
- 1、2 年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた生徒の割合が、全国平均より大きく下回り、県平均より下回っている。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている生徒の割合が、全国及び県平均より下回っている
- ☐ ICT を活用した授業や活動について、引き続き研修していく必要がある。
- ☐ 教師が、計画的に学習できる、また、次時につながるような課題を提示し、家庭と連携しながら家庭学習ができる環境をつくっていく必要がある。
- ☐ 教師が、生徒の実態に応じた授業研究及び授業改善を引き続き行っていく必要がある。

<人・地域とのかかわり>

- ☐ 人が困っているときは、進んで助けている生徒の割合が、全国及び県平均より上回っている。
- ☐ 放課後や週末に地域活動に従事する、また、家族と過ごす生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- ☐ 放課後や週末にテレビ、動画視聴、ゲーム、SNS をしている生徒の割合が、全国及び県平均より上回っている。
- 友達関係に満足している生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 放課後や週末に学習、習いごと、スポーツをしている生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 放課後や週末に友だちと過ごしている生徒の割合が、県平均より下回っている。
- ☐ 引き続き学校生活の中で話し合いや学校行事、生徒会活動等を通して課題を解決していく機会を設定し、生徒が生徒の手で支え合いながら学校をつくっていく環境を再構築し、さらに充実させていく必要がある。

<生徒の意識について>

- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている生徒の割合が、全国及び県平均より大きく上回っている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思っている生徒の割合が、全国及び県平均より上回っている。
- 将来の夢や目標を持っている生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 学校に行くのは楽しいと思っている生徒の割合が、全国及び県平均より下回っている。
- 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる生徒の割合が、全国平均より下回っている。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思っている生徒の割合が、全国より大きく下回り、県平均より下回っている。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる生徒の割合が、全国平均より大きく下回っている。
- 自分の学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると感じている生徒の割合が、全国及び県平均より大きく下回っている。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる生徒の割合が、全国及び県平均より下回っている。
- 引き続き、授業をはじめ、学校生活の中で、互いに協力して取り組む、生徒理解に基づいた教育的支援をする、また、地域活動への積極的に参加するなど、さまざまな経験を積んでいけるような環境を、学校・家庭・地域が連携・連動し、つくっていく必要がある。